

# 工房信州の家 展示場の歩み

信州の木の家をより多くの方に感じていただくこと、  
私たちは県内各地にさまざまなタイプのモデルハウスをご用意して、  
世代や家族構成ごとに住まい方を提案しています。

信州の自然を感じながら、  
心豊かに暮らすことをキーコンセプトにしながら、  
私たちの家づくりがどんなふうに進化してきたのか  
振り返ってみます。



## 工房信州の家の原点

輸入材全盛の時代で、無垢材ですら主流でなかった当時、「信州の家は信州の木で」という常識外れの方針を掲げて設計しました。ヒノキ信仰はあったものの、「カラマツなんてねじれて建材にならない。人工林の木は土木用」というのが業界の常識。他社メーカーからこき下ろされるなか、満を持して住宅公園に竣工。ここから「県産材モニター募集」を謳い、地域材の家づくりの魅力を少しずつ訴求していきました。

### 伊那展示場

2000

## 工房信州の家の歩み

2003年

・信州の家は信州の木で  
工房信州の家づくりグループ発足  
「信州木づくりの家」として県より認定  
(県産材使用率60%)

2004年

・自分の山の木で家づくり1棟目

2005年

・匠の会発足  
(現在125社)

2007年

・長野県ふるさとの森林づくり賞  
県知事賞  
・天然乾燥ストックヤード建設  
(県産材使用率70%)

2008年

・「四季」モデルハウス(松本市和田)  
オープン  
・県産材使用率80%に

2009年

・諏訪沖田モデルハウスオープン  
・薪ストックヤード開設、薪販売開始

2010年

・ふるさと信州・環の住まい  
(長野県版長期優良住宅)に全棟適合  
・断熱等性能等級4に全棟適合

2011年

・設計デザインコード制定

2012年

・選木ツアー、  
ひとてま工房開始

## 社会背景

2005年 耐震偽装問題

2008年 リーマンショック

2011年 東日本大震災

## 分譲地の歩み

南アルプスと中央アルプスを望む高台に25区画の分譲を開始しました。コンセプトは「自然環境共生の街づくり」。信州の風土に合った街並みで、家族で四季を感じ、齢を重ねることに育つ街づくりを目指しました。統一感ある美しい街並み形成のために、独自で「建築協定」を制定。行政でもまだ景観条例など無い時代で、民間では長野県で初めての制定であり、行政から「こんなに厳しい縛りで大丈夫ですか」と心配されたほどでした。



## モデルハウスの歩み

2003年、2008年、2015年と、分譲地内に三棟のモデルハウスを設けました。今や工房信州の家の代名詞ともいえる「土間サロン」を始めて謳ったのも、南原モデルハウスでのこと。いずれも総二階建てのシンプルな架構のグリッドプランを基本とし、ゾーニングの工夫によってどんな敷地条件やライフスタイルにも対応可能な柔軟性のある家で、多くのお客様がSEASONのモデルハウスをベースとした家づくりをされました。



## SEASON南原 (25区画の分譲地)



## 県都・長野市への挑戦

この展示場ができた2009年、長野市近郊では「木の家」と呼べる家づくりを積極的に行う住宅会社はまだありませんでした。信州の住文化の創造を大きなテーマとして掲げる私たちは、信州最大の都市・長野市の多くの方々に、この家の真価を問いたいと考えました。奇しくも、時はリーマンショック後の混乱の只中。住宅公園からメーカーが次々と撤退するなか、知名度に勝る大手メーカーを相手に、信州に特化した家づくりで真向勝負を挑む大きな挑戦でした。洋風スタイルの外観が多い住宅公園のなかで、外構も含め天然素材を前面に出した家は、庭木とのバランスもよくとても映えました。



## 展望サロンのある 信州上田の家



## 上田展示場 [2025年リニューアル]

## 長野中央展示場



## 旧 松本展示場 [2022年4月閉館]

2009

2010

2012

## 住むから創るへ

土間サロンのある暮らしの提案を始めて20年。  
以来、工房信州の家の大きな特徴として進化し続けたその空間が、  
今までより大きく、自由に、その使い方の夢を広げます。  
「住む」や「暮らす」を超えたもっと大きな営みの舞台として。  
そう、土間サロンは生き方なのかもしれません。



## 松本南展示場

## 人と人のつながりの これからの形

先の平成時代は大きな自然災害が多くあり、日頃の絆の大切さが確認されました。また昨今は共感をキーマンとするSNSが人気です。そうしたなか、いま人と人のつながりの新しい形が生まれつつあるようです。例えば、ゆるいけれど深いつながり、一緒にいるのが楽しいだけでなく、互いに自分の価値を高め合うようなつながりを、私たちは求めています。ホームパーティーも、ホストとゲストという従来の垣根をつくらず、時間や体験を共有し、新しい価値を共につくっていくのがこれからのスタイルだと考えます。古牧展示場は、「人を呼びたくなる家」の新しい形です。



## 諏訪展示場



## 小布施モデルハウス

## ライフスタイルの 新しい提案

「毎日がグランピング」をテーマに、我が家に居ながらアウトドアを満喫するライフスタイルを目指し、社内コンペ形式で基本設計を決定した展示場です。特定の建築家の先生の力に頼らず、スタッフ全員のノウハウや知識を注いだ空間は、他のどの展示場にも似ていない新鮮味のある一棟に。信州ライフの豊かさを加速させるのは外へと開くプランニングであるという路線を明確に打ち出した、2016年時点での工房信州の家の到達点です。

## 長野若里モデルハウス [2024年12月閉館]



## 長野古牧展示場

## 土間に暮らす、という 新提案



## 長野南展示場 [2019年5月閉館]

2013

2014

2016

2019

2022 2023 2024

2013年  
・長期優良住宅 全棟適合  
・耐震等級3に全棟適合(最高等級)  
・グッドデザイン賞「信州を楽しむ住まい 土間サロン」

2014年  
・グッドデザイン賞「あなたが選ぶ山の木で家づくり」  
「街まるごとリフレッシュデー」

2015年  
・二つの住宅性能評価を全棟標準採用  
・大工職採用開始  
・グッドデザイン賞「信州の家は信州の木で 工房信州の家づくりグループ」

2016年  
・日本サービス大賞 地方創生大臣賞  
「家づくりを物語に」  
・グッドデザイン賞「薪ストックヤード」  
・アーバンアウトドア Any+Forestオープン

2017年  
・グッドデザイン賞「若里の家」

2019年  
・グッドデザイン賞  
「毎日が土間バ「古牧の家」」

2018年  
・グッドデザイン賞「自分の山の木で家づくり」

2020年  
・日経ニューオフィス推進賞  
「フォレストコーポレーション本社」

2021年  
・信州コンシェルジュ活動開始

2014年 消費税8%

2017年 熊本地震

2019年 消費税10%

2020年 新型コロナウイルス

2022年 ウクライナ侵攻

2024年 能登半島地震